

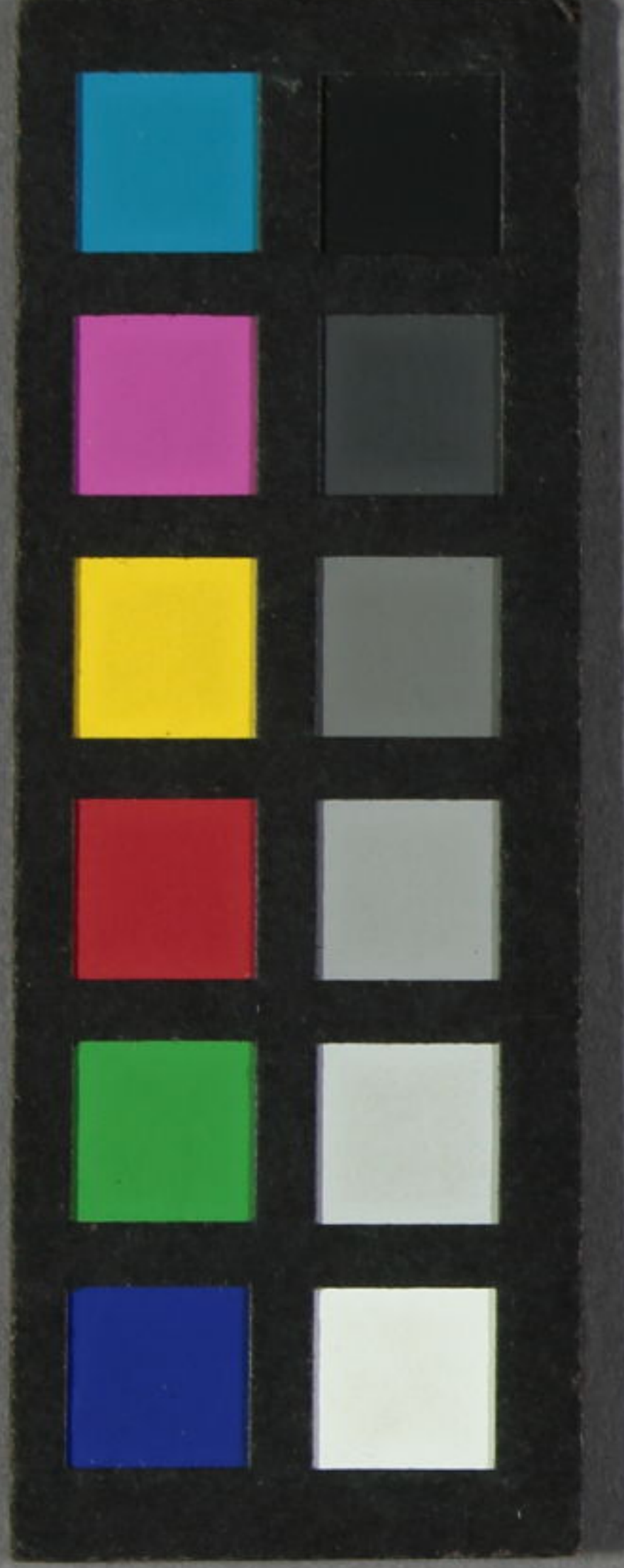
TOKYO

石
水
流

山
道
端
に

白
釋
木
に
鳥
鳴
く
つ
く

木
の
音
が
き
こ
え
る



松壽翁鶴海一漁撰

誹諧礎

詞寄

山樾陰佐



唐より以詩礎有り和歌も
良哉あり誹諧礎ハ近
松壽翁乃撰一々四季
中二共月を言ふ也秋意所名
雑と部賦を五七のあを
を書集め門系子かよ海
五又字七又字五文字と五合て
一句越作る子安一或也

誹諧

序

お文字が得る七文字五文字紙
自作し七文字を添へ上之下
の五文字を添へ綴りたるを
七文字と云ふと云ふか
秀逸の白紙も一先作
あるといふも同業乃海志
子しり言句比難あり志も
此この手扱有り先生よく

初ん紙通守く奉物あり小書
婦人おひあるまきく
其日おひある人多く
その人く乃きおしあ
を編く他つ子免るる
星運堂おひの
おひあるまきく
渠の中より

非書

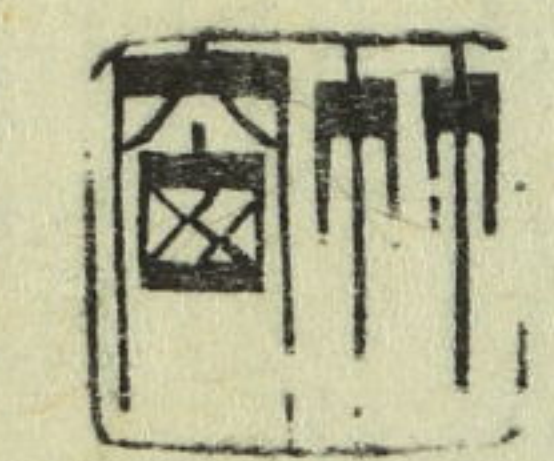
序

写し子に終むる子と
たゞ里ぬ

おゝあ又年戌戌仲秋

井窓主人述

あゝあ又



正月

元日乃	伊路の春	百栄の
神婚暁	京の春	あつな橋
小松曳	春此来て	年始状
羽子の音	心忌乃書	書初の
あゝあ子	あゝあをり	年此終
あゝあ玉の	あゝあ遊如	花の春
あゝあ始	あゝあ及	疾之や

非書録

言部

初富士を	比代の妻	子柄笛に
恨移ひ	門吹平	幸ひま
恨とち子	禮者素人	大服平
鯛川子	禮子おる	福巳う
粥杖平	惚平	福菜の
蕨の臺	鏡海先	蓮菜此
飯藁乃	屠獲此喜子	押船平
正月ハ	かみ餅	番部一

初吉を	蓮菜此喜子の	松鏡り
福壽平	喰搦乃	松の内
禮帳子	割けけ	松それ
福川の	破平此	初日の出
ち川吉師	薪賣	松の元
年玉小	々松の妻	つ乃吉
ち川吉	松吉の	お子松
福鏡乃	吉鏡子	吉松此

言部

上二

女之若の 初夏の 几中ニケク
 組饅頭 白ふ 年神乃
 神 柳ノ 葉合子 子ノ 男
 松の注連 子ノ 柳の どんど火
 今春と 与 葉乃 之ケ 日
 年始客 日乃 ちめ 有葉々々
 有 祓衣 玉の春 居蘇酒子
 春之日 初子の日 禮 扇

江戸乃 初春 春を思ふ事
 難波乃 春井 伊勢乃 元日
 之 所ノ 十事々々 初瀬の 元日
 西忌 牛之 也々々 七種 瓜乃
 元日乃 乃 僧 元日 浪々 尔
 女房乃 結 春 乃 早米 立と
 薪 搗 手乃 筆 試る
 雑 俵 乃 床 此 聖の 乃 乃 痛乃

永き日乃客	福弓々変々	密摘山形	舟越二日乃	町の元日	松	鱈	喜珠
古著祈ふ	くひ摘の後	居糞子餅日乃	年玉扇	辰赤の鞆此	え日若子乃	年立之表	菽乃乃母

かゝる餅飯子	乞ち飯鏡乃	雑煮大越祈ふ	くひ摘乃松	左美長の夜此	祇園乃初日	初天神	去年以忘れて
山も筑ちめり	縄尻の初雪此	白尻如麻呂尔	綱り白魚乃	戸田乃白美	辰久の筈の	田舎此禮乃	郷の正月

非待味之

二日

伊勢乃初日の
 禊祓を深
 寶引此系
 葉榮様乃
 雜者子居る
 母子子野の毛
 おうの年始の
 つ乃神極
 二見乃初日
 鳥母のた義長
 醫者門妻
 壬生此年玉
 恙歸乃白
 正月あゝ
 禊祓子風
 妻のほ連続

初日浴あゝ
 居る様とあゝ
 神乃乃松
 江戸のた義長
 舞子一夜
 之日此祓宣
 妻子仕立て
 神乃乃あゝ
 寺乃乃つ妻
 八洲のえ日
 た義長極子
 万葉集様禊
 帳屋つ竹
 几巾上ヶ付
 造り子あゝて
 妻極縁中

伊勢物語
 卷之五

二八五

えり日のあて 七経すのきき
 江戸の正月 くらひ摘の囊
 意方へ向ふ 正月乃子
 小原女此禮 堀のえ日
 若菜の古子 次磨も正月
 浪のゆき 喜湯の日此
 意方教ふる 美か摘む尔
 意方ありの ちぬるよ 篇

徳志の依の づ禮よし
 所のいれ 年始の依子
 書乃年始の 結さ乃結り
 方るあ 酔て 寝ぬ糸 意
 正月お城 正月乃門
 喜のつ口 正月く来て
 舟をぬる 意年以く年始
 江戸乃の 湯徳のあ日

江戸の正月

七ノ六

伊勢の正月 削り如く
 鬼木を籠子 年玉子厨六斗
 雪忌くく尾の 後城の虫摘
 辻の寶川子 京乃山月
 後乃初日乃 膳所の門松
 之ッ井ヶ杉乃 之保の初日
 不日乃富士 尾も山月
 福壽子以久 今銀乃春成

二月

衣文善力 梅日和 乃葉乃
 萩此梅 梅葉乃 ころもつま
 二月の燈 む兜の後 梅をやい
 彼宮鐘 梅乃奥 梅思念
 涅槃像 梅乃香子 梅ヶ香子
 涅槃の日 由新志 電解乃
 彼宮善力 梅子苞 苗代田

苗代千 接糖して 流ハクハ
 蝶 糸く 川糖の 二月
 さぬさゝゑ 紺子啼 初年尔
 弓くびえ 田螺く 樹曼連
 角芦子 蜂の巣子 澄ぬ梅
 芦状雖 あつる下 畑打の
 舞雲雀 葱もろく 梅盛り
 白鳥の乃 むゝ葱 いと中

梅 午 孟 菜 種乃 蝶の
 ききく 起家く 去りて 佛乃
 心物のみ 志の 仏乃 口
 梅北 乃く 透く 梅 扱手
 梅 盛人 乃 鯉子 梅
 茅 千 梅 乃 時も 春め
 梅子 乃く 梅子 鞠子 乃
 乃 草子 乃 蝶 二日 比 春乃

回城之の半 帯を符平
 梅ふくくと お汁う梅も
 梅子之執事志の 望田の春の
 燕のる来り 那ハのるまは
 孔子みあり 氷と解く
 燕もくろ知れ 春ののまら
 梅も奥阿る 春ののの煙子
 福治の芽え子 梅をこ潔く

三月

雛まらり 雛の虫 七代り子
 母のあま さくら 雛 菜
 弥生山 山さくら 七生の娘
 胡葱の 媛さくら 田あま
 与 菜 足さくら 春解川
 伊千指 望さくら 菜の花子
 紅毛乃 ほさくら 春の春子

非答楚

上十

梅のみ忌	小糸を春	二月廿
人丸忌	連翹も	生土を
此影供の	菜植て	桃もて
鞆鞆ふ	花 薊	根 草
喉の草	若菜の	根も
海棠子	友味	根も
利木の花	若菜の	根の草
木の草漬	春をて	根也き

山吹乃	踰踏喉	若菜
井おれ春	春の草	根も
夜梅の	根乃日子	根も
ちをさ日子	春を	根も
鶯の菜	根も	根も
梅	根も	根も
岩吹し	根も	根も
枸杞福し	根も	根も

桃 咲く 奇子 白急の灯乃
 尾久の赤急 重き者此は
 野 渡子 古里の けり 奇籠子
 けり の 沖子 けり の 連此
 けり 此 船子 空お 奇子
 奇 燈 奇子 井出の 蛙乃
 お 代る 詠く 燈 奇子 隻子
 春 菊 の 花 春 の 赤急の

雛の内裏此 さくら八段く
 さくら 奇子 桃 梅 目 菊子
 桃子 伏見の 梅子 中居
 辛夷の花此 初秋乃 梅子
 さくらく 奇さ 通夜お 梅の
 鐘ハ さくら乃 脚 踏の 奇子
 梅 お 証 奇 雛 奇子
 雛も 奇子 雛 雛 奇子

雛
 奇子

雛
 奇子

人もさくくハハ 萩のさくくハハ
 雛のさくくハハ 柳さくくハハ
 菜のさくくハハ 次子のさくくハハ
 さくくハハ 眠ある花の
 さくくハハ 林檎の花も
 さくくハハ 馬酔木の花乃
 さくくハハ 東乃花は
 さくくハハ 雪の山ぬき

萱 さくくハハ 萩のさくくハハ
 さくくハハ 萩のさくくハハ
 菊 枯れさくくハハ とうれ乃やね乃
 菜 橋の唄も 巨燧寒くく
 菜 つまのさくくハハ 春の限り乃
 蛙 鳴く物乃 友を隣り乃
 小 靴を汲子 木地北燧様の
 小 靴さくくハハ ちきさくくハハ

非昔楚

止

伊予北あし	さくく啼く寺
橋かさし	庵のさねら子
さくく越後	おな乃路仕乃
お急ろり乃	蓮の浮葉の
土筆の袴	橋も白くお
さくく松	左飛乃櫻
伊予の平目	鯛も泳生の
船をうさうて	泳生のうらめ

八洲の橋の	出代ノ瀬
鳥の古堂乃	はもくは子の
龍のもろ	さくくもる
箕市此日も	軟橋をえよ
さくく此陰子	橋よ夜船の
橋まてさうり	船初る子法
船買子	庵の窓より
庭咲く寺子	佃此系と

陸田の浜を始 奈の三月
 暖い海も浜生の 加多の汐子の
 都の三月 次戸の三月
 初瀬乃浜生も ね根田の汐子
 空海の浜生小 さらうと磯織も
 さらうと磯織も 比叡の橋の浜
 さあらし子見する めよさらう乃
 橋ちうく 春の雨志んと

以下三春

永き日乃 船渡む 梅さめは
 春の川 春の春の 春の鶯
 春の帆 身ひき 春のや
 春風吹て 春風平 春 豊之
 春の雨子 春此夜の 春あけ
 蝶ねふ 柳うけ 蛙ねい
 春の日乃 春あねや 春此踏田

非本巻

二五

草あも蛇も	春あも	依保姫の
沼田の春	海苔菜	蛇あも
鱈くも	蛇柳子	八重子
春の田子	春風子	春此種子
戸田の春	春よき	常子
約るの	海震む	山子
春をり	春めいて	春の人
春の娘	春之月	春乃釣

一日	春あ	春の半
花も	花子	春も
春の之	春子	春あ
春此娘	春乃	春あ
春水	春く	春あ
春の	春をり	春子
春乃	春の	春あ
春二	春之	春あ

廿七百廿二

廿七百廿二

春乃 樓 屋 根 船 春
 海苔の 磨子 九重乃 春
 戸田乃 霞の 出口の 柳
 春の 藻 志乃 鯉 此 春
 帆乃 苞子 船の 帆乃
 春乃 嶋子 海苔 簾乃 春 波
 春の 餅子 春乃 入 帆
 海子 長 宗乃 春の 根 船の

四月

富貴乃 春乃 葵 春乃 葵
 春乃 春乃 仏生 春 葵 橋 尔
 春の 花子 灌佛の たて 葵 尔
 下 富 城 春乃 葵 春乃 葵
 春乃 魚 春乃 葵 春乃 葵
 廿日 春乃 葵 春乃 葵
 春乃 葵 春乃 葵 春乃 葵
 春乃 葵 春乃 葵 春乃 葵

非 官 整

上ノ 十七

茨乃花	鸕	船	乃乃乃
天竺花	夜鸕	子	乃乃乃
美人草	実小鸕	乃	乃乃乃
芥子花	松魚	乃	乃乃乃
竹の子花	乃乃梅	の	目乃乃
麦芥子	四月乃	乃	乃乃乃
麦の秋	相乃乃	乃	牡乃乃
鸕乃乃	乃乃乃	乃	乃乃乃

相の乃乃乃	乃乃乃
卯月此温泉場子	灌佛の目乃
乃乃乃	乃乃乃
牡丹乃乃	乃乃乃
乃乃乃	乃乃乃
乃乃乃	乃乃乃
乃乃乃	乃乃乃
卯乃乃	乃乃乃

花言

上ノ十八

八洲の糸糸
 毒のまゆ乃
 木此下雲尔
 枝の蛙跡
 檜乃乃魚干
 牡丹の咲く
 鶯の信帽子
 蘭子も花咲
 舟此金魚乃
 玉差を芭蕉
 卯の若くし
 筆塚り干
 牡丹廿日尔
 窓小蓮は美も
 牡丹もまき
 夜乃牡丹子

若くは花子も
 杉魚子塔を
 牡丹の蛙跡
 花袖を散る
 筆若干干
 金魚も透
 左那のさる
 空急の神乃
 梅さるさる
 日くしの若
 牡丹の使
 伊子は浮
 友書乃机
 卯此花賣乃
 花袖守衣
 下雲をり

非審楚

世十九

鏡娥のまゆ梅 袷も出来く
 不とけの産婦 葵まつり乃
 梅首鷄狩此列卒 松魚乃目利
 緋鯉うさろ福て みるまおお累る
 芍薬も花 喜麦のお来
 さくくの宴歌 梅もみるま
 まゆ梅より下戸 目る子綱乃
 系陽花おや路 花袖をせ居に

五月

菖蒲草 麦芍薬子 虫蛇子
 初 懐 田植時 飯きう福
 菖蒲打 踏る草の 踏牛此日
 西翠月 みる竹乃 あやめ草
 螢の火 長き根此 懐もも
 五月雨 蓬たふく 薬玉乃
 さくらさき子 柳木の花 金歡の花

おむす子	葛蒲賣	松子乃
おぼろ	早苗丸	お月守
ちの蝶乃	田植笠	夜菊の
荒和布刈	喜梅子	忘れ草
菱の花	柏 餅	石葛丸
田くづ唄	まこも新	おちり此日
早乙女の	川岸乃	花うらこ
百合の花	ひめ百合	櫛うけ

葛蒲湯白	さるも此か夜乃
早苗丸	船子緋鯉乃
おぼろ	あま子金急乃
田植の中	さきと何と
田子も唄乃	袖へるの
競るるる	傘月の雨子
まの田の末	櫛のさき
田植の笠	櫛月此

葛蒲若日此
あやめ此雲の
あ月の玉乃
葉海夜結
竹植る日
位在乃田小
神楽洗ひ
山梔子の花

くまるとる乃
かやけり叶れ
荻子即と筆
る多此葉の
歎替り平
鴨の子幾
くひ古老
量もあ鶴乃

新の葛蒲乃
粽乃使
田植の級越
早苗む培て
喜田十畝七乃
田を植うけ
入るの早苗
今寐る念歎を

粽結おと平
子乙女乃笠
宮よあ升
田植乃簍を
早苗の中平
梅香鶴のぬ初
之條のあ月
夢越退あ

非替

七

お月雨晴れて 菫を新詠し
 麦刈ともこの 茄子の花も
 田植のあまは 五月の虫も
 麦の秋 橋 雲追ひ
 空くりさるる乃 井田乃早苗
 鳥羽の田植の 妙る早苗
 早苗世々あゝ 尾田植此
 早乙女の子乃 薬玉の香乃

六月

日者き日お 沖 鱈 凧の泥
 は何のさ あり鶯啼 社まの葉
 お月子 あり五月の 富士信
 むし子子 涼しさ乃 夏河原
 蓮えくく 凧をさけ 涼 土屋
 却し是の地 蓮北まの子 高葉凧
 宵の遠 凧乃花 一夜鱈

非古本

上七三

重	の	山	川	後	川	の	山	川	後	川
子	い	き	き	麻	の	山	川	後	川	の
右	蘭	州	ち	く	ひ	草	凌	音	乃	乃
空	蟬	比	風	華	乃	夕	白	乃	乃	乃
嘉	定	の	日	盛	乃	さ	く	乃	乃	乃
名	越	の	日	盛	乃	葛	乃	乃	乃	乃
川			流	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
夕	後		川	将	の	乃	乃	乃	乃	乃

氷	室	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	天	寺	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃

氷室乃使	祇園糸乃
おむろの楳	氷室の雲此
鳴子乃似乃	蓮子旭の
夕魚の手を	蓮兒と共子
六月乃白	六月の風
冷多賣此	むし干此襦
蛸ハ時つて	妻牽控く
娘の日牽乃	口糸涼く

桃乃りあ	以後見そふ
鹽子乃く乃	樓船涼く
蓮兒乃雪も	六月の雲
似を幼中	箱桶子日
井の津子似	蓮兒の幸
苗田の百々	思ひ乃雲
氷室おむと	氷室子お
以後の人乃	六月乃船

川中ウ船々 橋の花乃
 蘇志の目拿 弓も花咲
 富士祿定の 田植の腰城
 芽の端と捨て 菱刈あらた
 麻の糸ふ流る 箸越簪乃
 浪うらえら子 六月定々く
 さくく井はく 六月の井戸
 百回ぬ乃 暮りて涼しき

以下三隻

藤子も 夏あちも 夕之平
 蛸の子を 庵涼し 寺涼し
 石菖乃 釣志のふ 蛸を釣て
 妻のちや 蛸涼し 蛸をりて
 三三の蛸 ちやの子 蛸を焼く
 蛸も火の 簾賣の 蛸子菓
 蛸のちや ちや桶を 菓をちやふ

非言

七六

友書の側子 友女の筆乃
 友撫む接て 一友筆をうて
 帯り少し筆をふ 筆をくふ虫の
 惟子時結 友知了ぬ國
 友瘦をうて 湯えの友の
 あつ中^ウ 渥^ウ 安^ウ 場^ウ 子 底^ウ 在^ウ 名^ウ の友
 箱根の友乃 友と熱^ウ 海^ウ 乃
 小田原の友 ち^ウ 中^ウ 原^ウ 乃

七月

七朝の秋 秋 魚乃 三井の秋
 寺^ウ 以^ウ 事^ウ 寺 柳^ウ 經^ウ 城 盆供^ウ 茶
 踊乃夜 生^ウ 才^ウ 龜 中^ウ え^ウ 乃
 尋^ウ 柳^ウ 子 踊^ウ る^ウ と 此^ウ と^ウ 入^ウ 子
 柳^ウ 散^ウ る 柳^ウ 筆^ウ 子 稻^ウ 乃^ウ 花
 友^ウ 上^ウ 舞^ウ 堀^ウ の^ウ 秋 荒^ウ 齋^ウ 乃^ウ
 い^ウ 弓^ウ 雲 桐^ウ 此^ウ 秋 き^ウ り^ウ 乃

非^ウ 結^ウ 終^ウ

七^ウ 七^ウ 八^ウ

一葉の影	七うた	星合ふ
星の哥	踊の痛	ちし響ふ
盆之日	星 追	又むらひ
鬼灯の	蛙 蛭乃	野 立る
早稲地帯の	早稲うそ	踊る
西瓜の意	葡萄地帯	園 狩
扇乃花	萩子蝶	刺 刺ふ
草市の	むらひ火の	草 草り

うさぎの	産星乃	一葉か船
柳の葉	織姫の	星乃井
めたまを	おみまはる	天の川
桐一葉	楯乃葉子	二ツ 星
蓮切の	盃蘭金盃	うけどろり
新綿乃	にり火の	おやの子
えんまきの	女市花	男 魚
扇 玉	糸々秋の	栞 校 吟

非若葉

上九

芭蕉の露	萩の風	沢枯柳
蓮の實子	秋乃故の	蛸の
蛸虫	蛸	蕨虫乃
多雪の飛	新米子	鳩の
秋の	过お櫛	扇の
稲妻の	秋楳子	蘭乃花
やいと花	女もとうま	志世狐
る煙籠	盆を報	熱踊り

踊乃	秋	おと
おと	袖	音
一	ち	小
柴	戸	舟
草	売	茅
小	屏	秋
一	葉	石
お	と	盆

非

上

之井古の秋	荻乃の花
夕雲乃実此	新とめる稲
子稲刈此子	母乃君杉
茅の穂と秋の	踊稲古手
舞る星乃	子稲乃刈初
踊り活衣の	音此う宿子
サ秋咲く此子	舞老も踊る
踊子実	おとろおやあ

盃知つんも	杉坂只秋
秋の角力手	秋の帷子
娘もおとろ	萩一さの星
盆越仕立を	杉經二人
おとろおとろ	母も踊りふ
星乃手向の	鶴乃はし
穂屋の蓆乃	礼の秋此
下かみ成此秋	かみの秋

俳諧

上三十一

施我鬼の極子	桐もちる日登
柳の散る	出口も散る
風子秋急る	盆のくひお
踊るつれ乃	寺子舞る秋
言燈の影	燈籠の影
萩寺子お響	名も濱萩乃
空山入り	いづら梅屋城
盆代乃米の	寺く乃盆

八月

八朔の葉端り	花畦原
秋乃霜	草の花
秋の梅	弱草此
草細	石班急鳴
草花	板草
為	小鳥狩
新	初阿比
	穂為乃

丁いんら	掛稻乃	厚くそ
小鳥の習	浅れ稻	草鴨子
ちり草の	梅はと	椎乃く
草の鶏	袖舞子	井の十
若草の花	弱むう	秋の田乃
鶯の	雁啼て	生西草
若葉の	穂葉と	柿
草の花	葉は鳥子	夜
		鈴

鶴の尾	松おろ	似梅子の
稲舟乃	稲干々	花野り
焼米ふ	芦の穂乃	尾草鳴く
鶴の丸	小舞物	鶴の物
少急物の	若草と	毛見の能
桐の本ふ	鳥舞し	鳴子引
稲橋よ	稲むら	よが鶴の
下り葉	葉山子	草うら

八節乃葉屋	八節の雪
弓のさし鳥の	尾草をくさす子
糸瓜乃あま子	花咲くさあ糸
神垣千稲	丁のまあるは
柳稲の中	杉家揺あま
新緑哉ゆづ子	小籾とれま
山雀乃甜尔	柿の皮むく
鮎さひる川	新堀子柿の

層をさる千	茶葉北葉の
稲乃穂波子	花苔堀乃
秋の雪あま	八節情家
石班急啼江子	る子さ葡萄の
宇治の花園	北相翠の母乃
麩の神為の	秋も雪降新
鮎もさひると	八節梅千
梨も漬乃	衣樹子雪姑

非書録

上三十四

本の子は去り 盆子を川草
 千位乃稲の 穴へ入る 輓
 栗山子の子に 毛見の川宿乃
 毛見乃栗肉 栗山子此笠乃
 栗山子例れて 柳稲の下
 稲刈の飯 稲刈鎌も
 稲船子子乃 稲塚子とす
 稲子花は 稲もどよりと

九月

重陽の九日 栗 栗の氣
 徳毒くも 毛の秋 之田報
 谷如美も みちるの 栗乃西き
 樽田乃 聖菊は栗 栗此音の
 幾久合 毛乃栗子 毛乃栗乃
 栗障子 秋の 栗乃栗乃
 栗枯て 栗をうり 柿の市

菊の節白乃 小田新井の
 梢乃秋の 小田の川流ぬ
 光うそ此市不 さらけくぬ松
 沢左の菊此 いそ粘り種子
 菊子小塚乃 鳥衣子稲穂
 きくの目此 神の田刈乃
 寺元おまふ子 菊此障子の
 菊を世芳あそ 溪娥の落館

菊の仗乃 稲を如い鋪
 後難子稻も 綱子さひ館
 吹草此 井出のい枯
 新井田不 菊子隈左の
 九日サ加子乃 田ハ管刈
 小新泊田子 菊を五子乃
 山流の菊の 菊子女性
 菊子も蝶結 きく控り

非
 諧
 變

此
 三
 冊
 七

菊の庭よりきく	菊の白懐乃
菊咲く宿此	きく此竹籠此
きくの一乃乃	菊抱より春久
菊の口乃乃客	菊より少袖の
きくかき分せて	作らぬきく此
菊菊も咲く	きく桶一ツ
書院より菊の	菊のきせよ
根来の蜜柑	久兼母賣乃

以下三秋

藤笛此	壺の藤	寄カレれ
守の秋を	鳴りとり	いせの秋
秋か	秋客	秋の夜乃
秋風	秋も	秋乃
寄方の海	寄乃中	旅此秋
角力と	寄と	秋の雨
室の秋	秋客	秋乃

高子山の	秋の畝乃	秋樹
初月止る	里乃秋	虫の音
くつり虫	露をきく	松雪共
溪磯の秋	京の秋	雪乃石の
雪乃雨	雪乃雨	温泉地秋
露をけりて	簑乃露	虫の音
むし夢	秋の野	むし夢
戸田の秋	尾久の秋	釣の秋

秋ハ入谷此	秋の葉鴨子
畚子小餅の	葦葉小麻乃
秋の棚井	蟹江の秋も
志村乃秋	旭ヶ谷此秋
岩所此秋	秋の六浦
喜地之秋	秋乃根根田
秋乃石護屋	石迫き麻小
紅の海流秋ハ	秋も遠くの

関	新	乃	母	角	力	抱	く
旁	を	以	帆	冥	越	つ	る
秋	も	豊	年	片	屋	う	秋
瀧	先	以	此	露	も	乃	子
秋	の	雁	子	秋	の	川	瀬
旁	乃	海	を	冥	乃	連	れ
冥	乃	禪		秋	の	田	西
田	乃	秋	の	秋	乃	夜	志

上ノ巻終

